29 01 02 01 01 001

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年02月03日（水）

事務事業	検査事務	担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	2913
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野施策別名 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等	地方自治法第２３４条の２、公共工事の品質確保の促進に関する法律、深谷市検査事務規則、深谷市検査実施要領、深谷市工事等成績評定要領、深谷市建設工事中間検査実施要領ほか				
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	地方自治法第２３４条の２第１項の規定に基づき、契約により受ける給付完了の確認をするため、市が契約を締結した工事（修繕）及び委託業務の必要な検査を実施するものである。また、契約金額５００万円を超過する契約については、完成（完了）検査時に併せて成績評定を行う。なお、この工事等検査経費には、「検査業務研修参加料（負担金）」も計上されている。
目的 ※何のために	契約に基づく履行の確保を確認する。また、成績評定を実施することにより、請負者へ品質の向上を促す。
対象 ※誰・何を対象に	市が契約締結した工事（修繕）及び委託業務の請負者を対象とする。
手段 ※どのように	契約検査課職員（専任検査員）及び補佐職を中心に配置した兼務職員（指定検査員）により検査を執行する。 なお、１３０万円以下の工事や役務の提供にかかる業務委託等は、主管課長による検査を実施する。
成果 ※何を求めるか	契約に基づく履行成果の有無の確認と証明書の発行及び成果品の品質確保。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	検査事務費	123,428
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 概要書の収受
- 指定検査員体制の運営業務
- 検査
- 成績評定
- 研修
-

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			・検査・成績評定					
事業費	予算（現額）		348,000	194,000	194,000	163,000	162,000	
	決算額		225,344	58,645	123,428	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	225,344	58,645	123,428	163,000	163,000	
人件費	従事職員数（人）		2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	
	人件費相当試算※１		15,946,950	15,953,100	16,115,050	16,703,400	16,703,400	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			16,172,294	16,011,745	16,238,478	16,866,400	16,866,400	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	請負金額５００万円を超過する工事検査数	目標値	件							■
			実績値		174.00	224.00	194.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。							
□	活動指標２	委託金額５００万円を超過する委託検査数	目標値	件							■
			実績値		621.00	660.00	618.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。							
■	成果指標１	工事成績評定結果平均点	目標値	点							■
			実績値		73.90	73.90	75.50	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。							
■	成果指標２	委託業務成績評定結果平均点	目標値	点							■
			実績値		73.60	71.20	72.50	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。							
■	成果指標３	成績評定６５点未満の工事件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		1.00	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		著しく悪いとされる６５点未満の工事件数を０件とする。							
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 契約金額が５００万円を超える工事の検査については、前年度比３０件の減となった。このことは、全体的な発注件数が減となったこと。また、前年度と比較し繰越工事が増えたことが検査件数の減の要因となっている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 工事成績評定平均点については、現場での施工状況と施工計画書の確認を行う、「現場確認」を引き続き実施した結果、平均点が向上した。また、６５点未満の工事については目標には達しなかったものの、前年度の３件から１件へ減少した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	検査係長　秋山　隆之

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	現在の評価項目については、周知がなされ、概ね一定基準までの施工管理がなされていることから、更なる公共工事の品質向上を図るため、また、現在の基準等に見合った評価項目となるよう見直しを行う。
達成状況 及び その効果	評価項目については、国、県や近隣市町村との比較を行い、その結果を来年度から使用する新成績評定システムに反映させるための基準等を作成した。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	検査事務	担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	2913

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 → ■ 成果向上のための改善
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

公共工事の公平・公正な判定や、請負業者の資質の向上を目的として、工事成績評定を実施しているが、現在の工事成績評定の評価項目については検査システムの本格運用を開始した平成２４年度から変更されていないため、来年度からの財務会計システム移行に伴い、検査システムが廃止となることから、成績評定項目についても見直しを行う。

評価者	契約検査課長　韮塚貴光

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

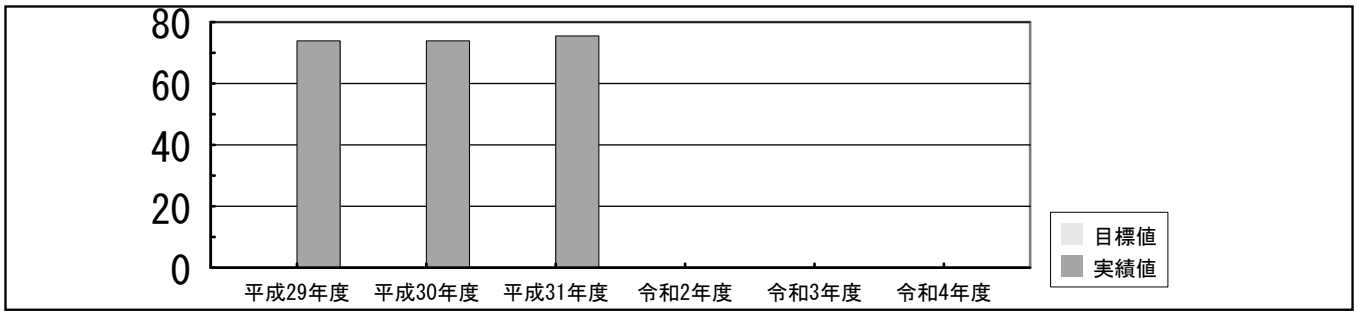
改善・改革案	財務会計システムの移行に伴い、現在使用している検査システムについては廃止となることから、成績評定システムを含めた検査事務手順について新たに構築する必要がある。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

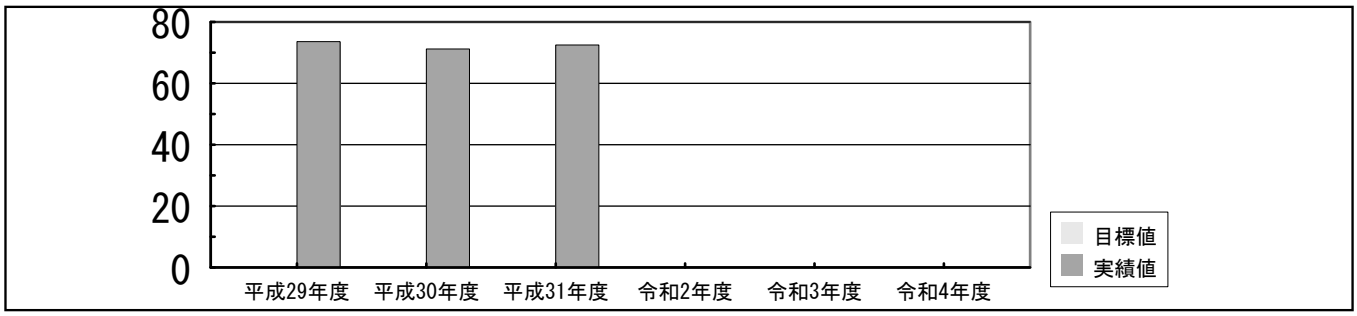
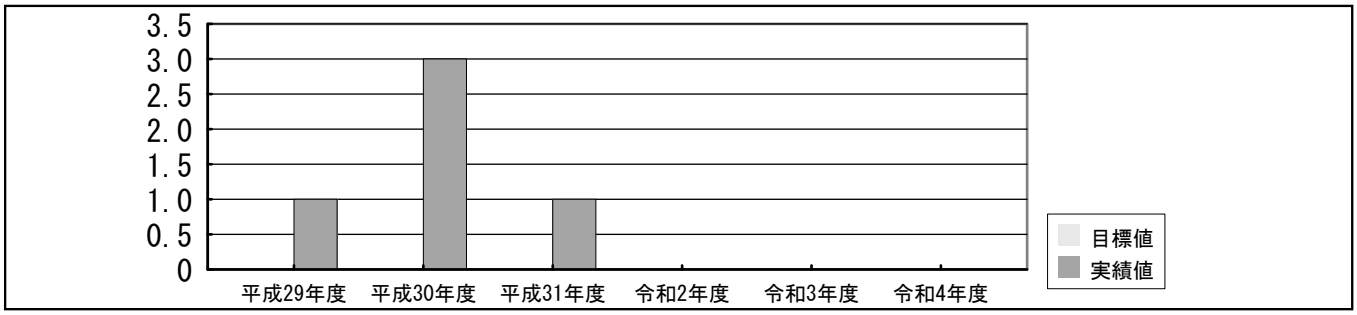
今後の課題	新財務会計への移行に伴い、契約検査課で行っている、各課で発注、契約等している業務についての完了及び検査執行状況の確認方法を構築する必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	工事成績評定結果平均点



区分	成果指標２	指標名	委託業務成績評定結果平均点



区分	成果指標３	指標名	成績評定６５点未満の工事件数